

美作の前方後方墳

三成古墳



| | |
|--------|--|
| 指定区分 | 国指定史跡 |
| 読みかた | さんなりこふん |
| 所在地 | 津山市中北下 |
| 指定年月日 | 昭和54年10月23日 |
| 解説 | 全長35m、4世紀築造の前方後方墳。5基の箱式石棺が設けられ、男性・女性・子どもなどが埋葬されていた。墳頂部の石棺は内部に赤色の顔料が塗られていた。変形四獣鏡、鉄剣、鉄鏃片、鉄斧、勾玉などが出土している。 |
| アクセス方法 | JR美作千代駅より約2km |
| 公開状況 | 自由 |
| 設備 | |
| 備考 | 現在は墳丘の復元整備が行われており、築造時の姿となっています。久米歴史民俗資料館(問:0868-57-2936)にて出土品等が展示されています。 |

きつずページ



| | |
|-------------------|---|
| していくぶん (指定区分) | 国指定史跡 |
| ぶんかざいめい (文化財名) | 三成古墳 |
| よみかた | さんなりこふん |
| しょざいち (所在地) | 津山市中北下 |
| していたひ (指定した日) | 昭和54年10月23日 |
| せつめい | 4世紀(せいき)につくられた全長(ぜんちょう)35メートルの前方後方墳(ぜんぽうこうえんふん)です。4人の骨(ほね)が重(かさ)なった形(かたち)で見つかりました。一緒(いっしょ)に貴重(きちょう)な鏡(かがみ)や鉄(てつ)でできた剣(てつけん)や斧(おの)勾玉(まがたま)なども出てきました。 |